無理なく楽しくヨガ体験

都路保健委員会と都路公民館合同事業のヨガ教室が９月１９日から６回にわたり公民館ホールで開かれました。

２５人の受講者は、さわやかな汗を流して日頃の運動不足を解消し、心も体もリフレッシュしました。

体をスリムに美しく

エアロビ教室が、１１月２５日から４回にわたり文化の舘ときわで行われました。受講生は音楽に合わせてステップを踏み、心地よい汗を流しました。また、脂肪が燃えやすい体になる体幹と脚の筋力アップ、転倒や老化を防ぐ柔軟方法を学びました。

中村さんの「出会いこそ宝」に深く共鳴

大越まちづくり協議会（菅野輝夫会長）主催の中村文昭講演会が１１月２２日、大越武道館で開かれました。テーマは「人のご縁ででっかく生きろ」。親の喜ぶ顔が見たいと考えながら大人になったが、家出同然の夢を持たない生活を送っていたところ、師と仰ぐ人と出会ったことで自分の環境が変わり、日々感謝しながら生きていること。そして、「世の中の役に立つ何かを」との思いから北海道の農地を借り、引きこもり・ニートと呼ばれる若者たちと農業を一緒に行うなど、一生懸命に生きる話に多くの聴講者が引き込まれていました。

タイの芸能を楽しむ

子育て中のお母さんと子どもたちが活動する「ままトークの会みやこじ」の４回目が１１月１９日、岩井沢児童館で開かれました。テーマはタイの音楽に触れてみようで、アロム・ランナーのグループとタイ楽器体験やモン演奏、生の演奏でのダンスをしました。２０人ほどで太鼓やモンという楽器を鳴らすと、会場全体が共鳴して普段ではできない貴重な体験ができました。

輪投げで築こう都路の輪

元気な都路町民交流会が１１月３０日、古道体育館で開かれました。輪投げ大会には３２チームが参加し、笑顔あり真剣な表情ありで的を目指し輪を投げていました。

ニュースポーツ体験では、カローリングやフライングディスクなどを何回も楽しんでいました。昼は味ごはんと豚汁が振る舞われ、福本えみ歌謡ショーで楽しい時間を過ごし、交流や親睦を深めました。

交通安全を楽しく学ぶ

春山・文珠の長寿会と石森ふれあい会、ＪＡたむら船引支店合同の交通安全教室が１１月１１日、船引総合福祉センターで開かれました。参加した１１０人は、田村警察署の佐藤警部補が講師を務める交通安全講話に熱心に耳を傾け、敏しょう性の測定やＪＡ共済が健康増進のために開発したレインボー体操を楽しみながら学びました。

また、落語家の林家蔵師匠が交通事故に遭わないための留意点を巧みな話術で、面白おかしく披露した交通安全落語では、会場が笑い声と拍手で埋め尽くされました。

優雅な踊りに酔いしれる

常葉町文化祭実行委員会主催の常葉町芸能祭が１１月１６日、常葉公民館で行われました。市文化協会常葉支部の１６団体１６５人が出演し、日ごろの練習の成果を発揮した４４の演目が披露されました。

会場に訪れた約２５０人の観覧者は、ステージで奏でられるあでやかな舞に目を奪われ、伝統芸能を堪能する１日を過ごしました。

３市町が交通事故ゼロを誓う

第５回田村地方交通安全大会が１１月１３日、三春交流館まほらで開かれ、田村、三春、小野の３市町の交通関係者が参加しました。大会では、交通安全に貢献した個人や団体が表彰されたほか、３市町の小学生による交通安全意見発表会が行われました。田村市からは、美山小学校６年の小石澤優太さんが交通ルールを守ることの大切さを発表し、大きな拍手を受けていました。アトラクションとして、県警察音楽隊やカラーガード隊による演奏会も行われました。

参加した皆さんは、交通事故の根絶に向け一丸となって取り組むことを誓い合いました。

造形美を感じ、味わう

大越公民館主催の町内５地区にある女性学級の合同研修が１１月２９日、福島飯坂方面で行われました。

参加者２６人は、福島片岡鶴太郎美術庭園で初期のダイナミックな絵画や繊細な陶芸など約８０作品を鑑賞し、摺上川ダムでは展望台からの広大に見下ろせる景色に感動し、有意義な１日を過ごしました。

真紅の紅葉にうっとり

都路公民館と大越公民館共催の秋のウォーキング教室が１１月９日に行われ、都路・大越地区から３３人が参加しました。

桑折町の半田沼周辺をウォーキングし、参加者は自然の豊かさと、写真に描かれたように美しい水面に映る木々の秋景色に心も体も癒されました。お昼はおいしい弁当を食べ、お風呂に入るなど楽しい一日を過ごしました。